

消費者のための F T A / E P A 学習会

**F T A / E P A とは？ 私たち消費者にとって良い事とは？
日本の農業へのダメージはあるの？それは消費者に影響があるの？**

近年世界各国で結ばれるようになってきた自由貿易協定 (F T A) ・ 経済連携協定 (E P A) 。最近では韓米が F T A に署名を、日本はアセアンとの E P A で大枠合意、そして日豪間でも E P A 交渉が始まっています。

特に、日豪間の交渉は私たちの生活への影響が大きいとされています。そこで、外交政策や、立場が異なる双方からお話をうかがい、日本にとって、消費者にとって、この交渉によってもたらされるものはどういったことなのか、基本的なことから学習し、考えを深めましょう。

日 時 2007年7月6日(金) **第1部** 11:00 ~ 12:40
第2部 13:30 ~ 15:30

場 所 主婦会館プラザエフ 5階
参加費 500円

裏面 F A X にてお申込みください

- スケジュール -

第1部

- 11 : 00 ~ 11 : 10 開会挨拶、趣旨説明
11 : 10 ~ 11 : 50 「日豪 F T A / E P A について」
外務省 経済局 経済連携課 経済産業省 通商政策局
11 : 50 ~ 12 : 10 「日豪 F T A / E P A がもたらすもの」
(社)日本経団連 国際第一本部長 金原主幸さん
12 : 10 ~ 12 : 40 質疑応答

第2部

- 13 : 30 ~ 14 : 30 講演「今なぜ自由貿易協定・経済連携協定なのか」(仮)
講師：東京大学大学院 農学生命科学研究科
農業国際専攻 鈴木宣弘さん
14 : 30 ~ 15 : 00 「日豪 E P A 農業分野について」
農林水産省 大臣官房国際部国際経済経済連携チーム
15 : 00 ~ 15 : 30 質疑応答
学習会終了後に北海道よりアピール

講 師 鈴木 宣弘 (すずきのぶひろ) さん 東京大学大学院教授(農学国際専攻)

1982年東京大学農学部卒。同年農林水産省入省。九州大学農学部助教授、教授を経て2006年9月から現職。夏期はコーネル大学客員教授も兼務。日韓・日チリ F T A の産官学共同研究会委員を務め、小泉内閣の E P A 国民対話(東京・鹿児島)にも登壇。日本学術会議連携会員。主要著書に、『F T A と食料 - 評価の倫理と分析枠組』(筑波書房、2005年)、『F T A と日本の食料・農業』(筑波書房、2004年)等。

お問い合わせ 全国消団連 担当 菅

T E L : 03-5216-6024 F A X : 03-5216-6036

FTA/EPA学習会

参加申込み用紙

FAX:03 - 5216 - 6036

2007年7月6日 金曜日 第1部 11:00~12:40

第2部 13:30~15:30

主婦会館プラザエフ5階 会議室

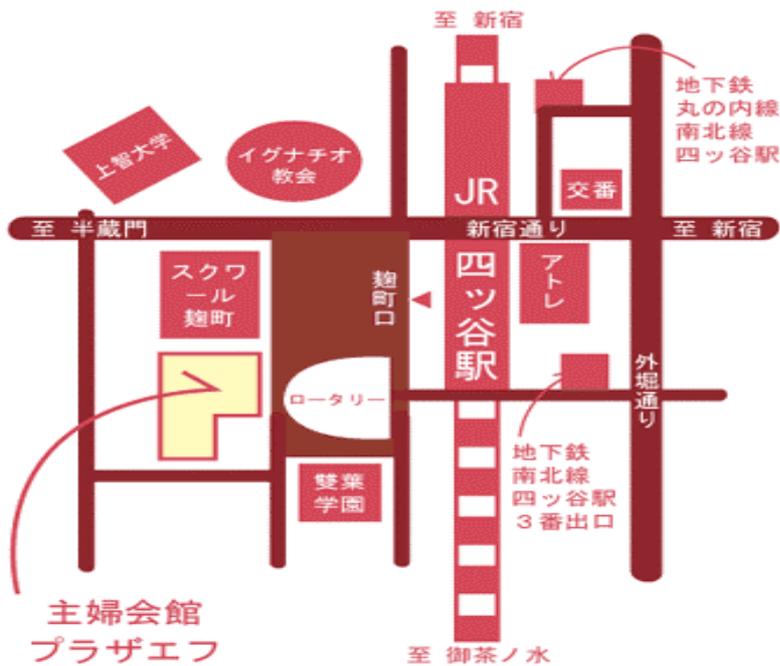
第1部、第2部どちらかに参加される場合は、参加されるほうに を付けてください。

所属	お名前	第1部	第2部	連絡先

* 準備の都合上事前にお申込みください。

* いただいた情報は学習会参加集約の目的以外には使用いたしません。

会場案内



〒102-0085 東京都千代田区六番町 15

JR 四ツ谷駅麹町口前 (徒歩 1分)

地下鉄南北線/丸の内線四ツ谷駅 (徒歩 3分)